



BUSAN
International Film Festival

BIFFメセナ賞審査員特別賞受賞

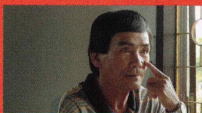
涙の連帯で、

彼女たちが世界を変えていく—



記憶の戦争

UNTOLD
기억의 전쟁



監督:イギル・ボラ (『きらめく拍手の音』)

プロデューサー:ソ・セロム、チョ・ソナ / 撮影:クァク・ソジン / エグゼクティブプロデューサー:イギル・ボラ

プロダクションデザイナー:クァク・ソジン / 編集:パトリック・ミンクス、イギル・ボラ、キム・ナリ、キム・ヒョンナム / 音楽:イ・ミンフィ

製作:Whale Film / 英題:UNTOLD / 原題:기억의 전쟁 2018年 / 韓国 / 韓国語・ベトナム語 / カラー / 79分 / DCP / ©2018 Whale Film 配給:スモモ、マンシーズエンターテインメント

ベトナム戦争の隠された物語—あれから50年、今でも消えない深い傷跡

『きらめく拍手の音』で鮮烈なデビューを飾った
 韓国の女性監督イギル・ボラが、
 衝撃的で、勇敢で、
 優しい傑作を作り上げた！

INTRODUCTION | 2018年4月、とある市民平和法廷がソウルで開かれた。法廷に立つ1人のベトナム人女性、グエン・ティ・タン。彼女は、<フォンニイ・フォンニャットの虐殺>の生存者である。8歳の時に韓国軍に家族を殺され孤児となった彼女は、その記憶を思い出して、涙を浮かべる。あの日、一体何が起こったのか…。あの日の出来事を目撃したディン・コムは身振り手振りを交えて当時を再現する。あの日の後遺症で視力を失ったグエン・

ラップはこれまで語る事のなかった記憶を絞り出すように語る。一方で、“参戦勇士”と称された韓国軍人たちは、「我々は、良民は殺していない」と主張する。イギル・ボラ監督が、全員女性の制作陣とともに「ベトナム民間人虐殺」の記憶について当事者たちの生々しい証言の数々を記録した傑作ドキュメンタリーが誕生した。歴史の中に忘れ去られようとしていた「記憶」を“未来”に繋いでいくのは、スクリーンを見つめる私たちの役目なのだ。

日本から差別、占領・統治されていた韓国。
 その韓国軍兵士達が、ベトナムの村で虐殺を行った。
 日本は、韓国を始めアジアを侵略したが、アメリカから原爆を落とされた。
 加害と被害のアンビヴァレンツを併せ持つヒトという、厄介な生き物。
 この超難問からは、誰も逃れることはできない！——原一男(映画監督)



8歳の記憶、あなたは何を覚えているだろう。
 お気に入りのワンピースを着て行ったディズニーランドで見たパレードの光、友達と蝉取りに夢中になっていたあの日。私の中にはその記憶が8歳当時のものだったのか不確かなままのものが浮かぶ。
 しかし、タンおぼさんの記憶は今でも鮮明だ。彼女はその記憶を1日も忘れたことはない。それは、彼女自身が生きる意味を問い続けてきた記憶だから。
 生きてその記憶を伝えてくれたタンおぼさんに感謝する。——伊藤詩織(映像ジャーナリスト)

“どこの傭兵だろうと関係ないわ
 私の家族を殺した彼らが
 憎らしい！”

監督：イギル・ボラ(『きらめく拍手の音』) / プロデューサー：ソ・セロム、チョ・ソナ / 撮影：クァク・ソジン / エグゼクティブプロデューサー：イギル・ボラ
 プロダクションデザイナー：クァク・ソジン / 編集：パトリック・ミンクス、イギル・ボラ、キム・ナリ、キム・ヒョンナム / 音楽：イギル・ボラ
 製作：Whale Film / 英題：UNTOLD / 原題：기억의 전쟁 2018年/韓国/韓国語・ベトナム語/カラー / 79分 / DCP / ©2018 Whale Film
 宣伝美術：李潤希 配給：スモモ、マンシーズエンターテインメント



@kioku_sensou fb.com/sumomo.movie

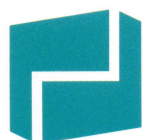


公式サイト
<https://www.sumomo-inc.com/kiokunosensou>

11.6(土) 公開

特別鑑賞券 ¥1,200 発売中

初日舞台挨拶および上映期間中にイベント実施予定



ポレポレ東中野

03 3371 0088 pole2.co.jp
 JR東中野駅西口改札北側出口より徒歩1分
 都営大江戸線A1出口より徒歩1分



*新型コロナウイルス感染状況により、変更や中止の可能性がありますので、事前に劇場HPやお電話でご確認ください。